

鹿児島県知名町

鹿児島県大島郡知名町瀬利覚2126番地

担当: 知名町保健センター

TEL)0997-93-2075 FAX)0997-81-5030

Eメール: china20@town.china.lg.jp

本町のデータ

【1】 面積 53.29km²

【2】 人口

| S35国調 | H2国調 | H22国調 | H27. 3. 31住基 |
|-------------------|-------|--------|--------------|
| 12,831 | 7,768 | 6,806 | 6,243 |
| 65歳以上人口比率(H22 国調) | | 29.80% | |



【3】 産業構造

| 区分 | 就業比率(H2国調) | 就業比率(H22国調) |
|----|------------|-------------|
| 1次 | 43.20% | 29.90% |
| 2次 | 14.60% | 13.70% |
| 3次 | 42.20% | 56.10% |
| 総数 | 3,496人 | 3,318人 |

本町の概要

沖永良部島は、鹿児島市の南方約546km、また那覇市の北約180kmの洋上に位置する面積93.65km²の島で、南方には太平洋を隔てて与論島や、沖縄本島が望まれ、北は東シナ海に面しています。

知名町は、この島の南西部にあり、北緯27度20分、東経128度35分に位置しています。古来より南西諸島の一部として、歴史的、文化的に沖縄とのつながりも深い地域です。

本町は、標高245mの大山を中心にその大部分が第4期の琉球層群に覆われたカルスト地形を呈しているため、石灰岩が露出しているところが多くあり、河川はほとんどなく、亜熱帯樹林が繁茂する大山周辺以外は比較的平坦部が多くなっています。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

平成31年3月 知名町自殺対策行動計画作成

基本理念: 町民一人ひとりが、お互いを理解し、支えあうまち知名町

基本方針

生きることの包括的な支援として推進

- 関連施策との有機的な連携による総合的な対策の展開
- 対応の段階に応じたレベルごとの対策の効果的な連動
- 実践と啓発を両輪として推進
- 関係者の役割の明確化と関係者による連携・協働の推進

<具体的な取組み>

【基本施策】

(1)地域におけるネットワークの強化

●各分野・各団体との会議や研修等の議題に自殺対策を取り上げるなど、情報共有を図り、具体的な連携方法を検討する。また自殺リスクを抱える町民への支援を連携して行う。

●知名町いのち支える自殺対策推進本部を設置し、庁内各分野担当課が連携を図り、総合的かつ効果的に推進する本部会議開催。

(2)自殺対策を支える人材の育成

●町職員、教育・福祉関係者を対象とした研修会を開催し、自殺リスクを抱えた町民の早期発見ができるよう、また気づき役やつなぎとして役割を担えるよう研修会の参加を推進する。

●全町民を対象としたゲートキーパー養成講座を開催し、身近な地域で支え手となる町民の育成をすすめることで、地域における見守り体制を強化する。

(3)住民への啓発と周知

●庁内各窓口でメンタルヘルスケアや相談窓口等のリーフレットを設置・配布

●町民の集まりの場や広報ちなを活用して、自殺対策や相談窓口などの記事を掲載するなどして自殺対策について周知機会を増やす。

●児童生徒向けのこころの健康について、相談窓口一覧などのリーフレット配布を行う。

(4)生きる事への促進要因への支援

●町民が気軽に集える居場所づくりや、悩みの共有や情報交換のできる場所の提供。

●自殺未遂者への支援は、医療機関や警察、消防、保健所との連携により個別支援を行う。

●自死遺族向けのリーフレット設置を行い、支援情報の周知に努め、支援を行う。

●要介護者、障害者、認知症患者等の当事者と介護する家族同士が集い交流し、悩みの共有や情報交換できる場の提供を行う。

(5)児童生徒のSOSの出し方に関する教育

●児童生徒向けこころの健康について周知と啓発を図るためリーフレット配布。

●こどもの出すSOSに気づき、受け手となれるよう保護者向けにSOSの出し方教育の取り組みについて情報発信と啓発を行う。

●教職員に向け、SOSの出し方に関する教育等の情報を提供し、研修会への受講を促す。

